

令和8年1月28日

発 言 者	発 言 要 旨
石塚委員	<p>地域住民の重要な生活道路であり、加茂水族館や海水浴等の観光でも利用される主要地方道藤島由良線が落石により全面通行止めとなっているが、その原因及び今後の対応はどうか。</p>
道路保全課長	<p>主要地方道藤島由良線の落石は1月15日に発生したもので、大きな石が落石防止ネットを突き破ったという状況であった。翌16日に建設コンサルタントと共に緊急調査を実施し、岩盤の風化が落石の一因であると考えている。現在、測量や地質調査の準備を進めており、早期の通行止め解消に向け、迅速に対応を進めていく。</p> <p>なお、当該路線では、これまでも順次、落石対策を実施してきており、今回の箇所以外でも、落石等のおそれがある箇所について、調査等を行っていく必要があると考えている。</p>
石塚委員	<p>今般の寒波の影響により、庄内空港における離発着に相当な影響が出たと認識しているが、今冬の離発着の状況は例年と比べてどうか。</p>
空港港湾課長	<p>今冬は、雪による視程障害等の影響で、欠航や遅延が多く発生している。過去3年の12～1月の平均欠航便数は28便であったのに対して、今年度の欠航便数は1月27日現在で延べ53便に達している。そのうち、降雪に伴う視程障害によるものが35便、強風によるものが17便である。また、1時間以上の遅延も過去3年平均が6便であったのに対して、今年は22便と多くなっている。特に大規模な寒波に見舞われた1月22～25日の4日間では、全40便中19便が欠航し、約1,500人の利用者に影響が出た。なお、滑走路の除雪の遅れによる欠航は生じていない。</p>
石塚委員	<p>「山形沿岸海岸保全基本計画」の改定の進捗状況はどうか。</p>
流域治水推進室長	<p>9月22日に第1回検討委員会を開催し、その中で得られた意見等を反映した素案を第2回で提示した。委員長と協議の上、第2回は11月20日～12月1日の期間で書面開催とした。第2回で得られた意見を反映した原案を作成し、12月19日～1月19日の期間でパブリックコメントを募集したところ、3件の意見をいただいた。これらの意見も原案に反映し、事務局案として第3回検討委員会に示す予定である。</p>
石塚委員	<p>検討委員会やパブリックコメントで寄せられた意見はどのようなものか。</p>
流域治水推進室長	<p>検討委員会では、「地域住民に対して気候変動による海面上昇や越波などのリスクをしっかりと伝えることが大事である」、「砂浜の浸食箇所のモニタリングをしっかりとやってもらいたい」といった意見をいただいている。パブリックコメントの意見内容は詳細を申し上げられないが、県の意図とは異なる解釈が見られたため、原案の表現を分かりやすくするなどの修正を行っていく予定である。</p>
渋間委員	<p>県土整備部長から除雪の状況について報告があり、1月20日時点の除雪費の執行状況は約48億円とのことだったが、地域別の内訳はどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
道路保全課長	<p>除雪費は道路除雪の委託費のほか、防雪柵やスノーポールの設置費等を全て含んだ費用である。1月20日時点での地域別の内訳としては、東南村山が約3億4,000万円、西村山が約3億6,000万円、北村山が約6億円、最上が約9億2,000万円、置賜が約7億円、西置賜が約4億6,000万円、庄内が約14億円となっている。</p> <p>過去5か年の平均と比べ、東南村山、西村山、北村山、最上は同程度か若干下回る一方、置賜、西置賜、庄内は上回っている。</p>
渋間委員	<p>昨今の気象状況の変化により、JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）などの現象が発生しやすくなり、局地的に豪雪になる可能性がある。その場合、特定の総合支庁における除雪費が増大すると考えられるが、除雪費の予算はどのように執行するのか。また、予算が不足した際の対応はどうか。</p>
道路保全課長	<p>除雪車は、道路上の積雪深が10cmを超えると予想される場合に出動する。総合支庁ごとの除雪予算に上限を設けているものではなく、予算が不足する場合は補正予算で要求する。今年度も除雪費の執行状況を踏まえ、不足が生じないように2月補正予算で追加要求する予定である。なお、交通の安全確保のために順次、排雪も行っていく。</p>
渋間委員	<p>県内の除雪オペレーターの人数はどうか。また、除雪オペレーターの担い手確保に向けた取組はどうか。</p>
道路保全課長	<p>現在、県の除雪業務に従事している除雪オペレーターは約1,200人である。担い手不足対策として、今年度から新たに「ワンマン除雪」を実施している。これは建設業協会から意見を聴いた上で、県から依頼する形で今回試行に至ったものである。なお、除雪機械にはバックモニター等の安全装備をしっかりと整備している。また、除雪オペレーターに必要な資格の取得支援も行っており、今年度は10人以上の応募があった。</p> <p>除雪については、毎年シーズン終了時に各委託事業者を対象にアンケート調査を行い、その結果を参考に新たな取組や改善を検討している。</p>
渋間委員	<p>国、県、市町村など発注者によって業務条件に大きな差があり、市町村道の除雪業務は事業者からの評判が良くないと聞く。市町村にも県に準じた対応を求める必要が出てくると考えられるため、業界全体の意見を幅広く収集してほしい。</p>
渋間委員	<p>県管理道路における消雪道路の延長はどうか。</p>
道路保全課長	<p>県が管理する道路延長は約3,100kmであり、冬期閉鎖区間等を除いた除雪対象道路の延長は約2,700kmである。地下水の熱を利用する無散水消雪の延長は車道と歩道を合わせて約44km、散水消雪の延長は車道と歩道を合わせて約87kmである。</p>
渋間委員	<p>地下水を利用する消雪道路について、地下水が枯渇した場合の対応はどうか。また、地下水の枯渇を理由に消雪道路を廃止した延長はどうか。</p>
道路保全課長	<p>水が出なくなった場合は、井戸部分の洗浄等の手法により、取水の回復を図っている。廃止した消雪道路の延長は把握していないが、ほとんどないと見込まれる。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
渋間委員	積雪時にマンホール蓋周辺の雪が融け、積雪量によっては道路上に危険な穴が生じることがある。米沢市では断熱マンホール蓋を導入し、こうした現象の発生を防いでいるが、県の流域下水道における断熱マンホール蓋の使用状況はどうか。
下水道課長	県の流域下水道において断熱マンホール蓋を導入した実績はない。
渋間委員	積雪して道路上でマンホール蓋による窪みができ、それにより自動車が破損した場合、道路管理上の瑕疵は発生するのか。
道路保全課長	積雪時のマンホール蓋の熱でできた段差による物損事故等について、これまで管理瑕疵を理由に損害賠償を請求された事例は把握しておらず、こういったケースは管理瑕疵に該当しない場合が多いと認識している。自動車の運転手には安全に走行する義務があり、前方に十分注意して運転する必要がある。
渋間委員	企業局の電気事業への雪の影響及び今年の発電量はどうか。
電気事業課長	<p>一般的に水力発電所は降雪により水量が減る傾向にあるが、昨年12月までは比較的暖かく、雪が降ってもすぐ融ける状況で水量が多かったこともあり、12月までの発電量は例年より多少多くなった。4～12月の水力・風力・太陽光を合わせた発電量は昨年度と比較して12.4%の増加となった。内訳としては、水力発電が14.3%増、風力発電が30.5%減、太陽光発電が8.9%増となっている。風力発電については、秋田県内の風力発電のプロペラの落下事故を受けて、酒田風力発電を停止していたことによるものである。</p> <p>なお、1月に入って本格的に雪が降ってきたが、今のところ発電への影響はない。</p>
青木委員	主要地方道米沢飯豊線では、昨年2月28日に雪崩が発生し、4月上旬まで通行止めが続いた。今年度の降雪量は過去5年間の平均をやや上回っており、今後、気温が上昇した場合、雪崩の発生が懸念されるが、同路線の雪崩対策はどうか。
道路保全課長	<p>米沢飯豊線では、昨年2月の雪崩発生直後から、雪崩対策の調査・設計に着手しており、昨年4月には雪崩予防柵19基の設置工事を発注し、降雪前の11月に完了した。同路線内においては、昨年2月に雪崩が発生した箇所以外にも雪崩が発生するおそれのある箇所があり、それらに対しても、来シーズンの降雪前までに工事を完了させるため、現在準備を進めている。</p> <p>また、同路線のパトロールを強化しており、斜面の亀裂や雪面のずれ、雪玉の転がり方などを毎日点検しているが、現在のところ、雪崩の兆候は見られていない。</p>
青木委員	新潟山形南部連絡道路の小国道路の整備概要及び進捗状況はどうか。
高速道路整備推進室長	<p>小国道路は国土交通省が事業主体となり平成31年度に事業に着手している。本事業は新潟県関川村から小国町大字松岡までの延長12.7km区間に設計速度80km/hの片側1車線道路を整備するものである。全体事業費は約350億円を見込んでおり、主な構造物はトンネルが2本、橋梁が6橋である。</p> <p>令和6年度末時点の進捗状況は、事業全体の進捗が約16%、そのうち用地取得については約66%となっており、県ではこれまで円滑な事業進捗が図られるよう、用</p>

発 言 者	発 言 要 旨
青木委員	<p>地の先行取得などを行ってきた。今年度は当初予算で20億円が配当され、調査・用地買収の推進や小国～岩井沢地区の改良工事、切土・盛土、横川の跨線橋の下部工工事を進めている。さらに補正予算として1億円配当されており、調査の推進を図ると聞いている。県としては、小国道路の早期整備に向け、引き続き政府に働きかけていきたい。</p> <p>小国道路の小国-飯豊間の約11km区間では令和4年8月豪雨で被災した箇所もあるが、5年度から事業化に向けた調査が進められていると聞いている。現在の事業の進捗状況はどうか。</p>
高速道路整備推進室長	<p>小国道路の小国～飯豊間については、国土交通省が令和5年8月に調査を進めるための計画段階評価の第1回を実施し、その中では、地域の状況と課題、目標等が議論され、地域住民への第1回の意見聴取も行われた。現在はその結果の取りまとめを行っていると聞いている。着工予定等の今後のスケジュールについては現時点では申し上げられないが、調査は確実に進んでいると認識しており、引き続き事業化に向けて政府に働きかけていきたい。</p>
青木委員	<p>企業局の広域水道料金は10年毎に改定していると聞かすが、県内4地域の前回の改定はいつか。また、料金改定に係る具体的な手続き及び今後のスケジュールはどうか。</p>
水道事業課長	<p>市町村は企業局に対して広域水道料金を支払い、市町村ではこの広域水道料金(受水費)に人件費、修繕費、減価償却費等の費用を上乗せして合計したものを原価としてそれぞれの水道料金を算定している。市町村の水道料金に占める受水費の割合は約20～30%となっており、企業局の広域水道料金の改定が少なからず影響を及ぼすので、市町村と意見交換をしながら、理解を得た上で改定を行うこととなる。</p> <p>現行料金は平成30年度に改定しており、令和9年度までの10年間の設定となっている。次期改定の10年4月に向けて、今月から各市町村と料金の仕組み等に関する勉強会を各地区で開催する予定である。ここで料金に関する認識を共有し、来年度に具体的な料金について協議を重ねて合意形成し、9年度に関係条例を改正し、10年度に新しい料金へ改定する。</p>
青木委員	<p>料金改定に向けた現時点での課題はどうか。</p>
水道事業課長	<p>施設の老朽化や人口減少、昨今の資材価格等の高騰などにより、料金上昇も懸念される。企業局では、料金の抑制を図る観点からも、施設の長寿命化やダウンサイジングなどをしっかりと検討し、可能な限り諸経費の節減に努め、受水市町村と十分に協議しながら改定作業を進め、料金の抑制を図っていきたい。</p>
小松委員	<p>入札契約制度の見直しにおける発注基準の改定に係る今後のスケジュールはどうか。</p>
建設企画課長	<p>2月9日の公共調達評議委員会でこの案を審議してもらおう。そこで了解が得られれば、要領等の改正作業を行い、4月からその内容を関係各所に周知し、7月に運用開始とする予定である。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
小松委員	本委員会で報告する前に、各委員に案の内容を事前に説明する必要があったと考える。関係者からの意見の聴取についてはどのように考えているか。
建設企画課長	見直し手続の進め方については例年どおり進めてきた。本委員会の各委員や業界団体からの意見を踏まえ、案を作成したものである。本日の意見も踏まえて、継続して検討していきたい。
小松委員	事前に説明を受け、委員会で意見を述べる形式でなければ、適切かどうかを調べる時間がなく、有意義な意見を出せなくなる。 建設工事費デフレーターの伸び率をベースに発注基準を改定したとのことだが、等級C・Dについて1,000万円未満の区分で変化がない理由はどうか。
建設企画課長	発注者・受注者共に分かりやすい基準とすることが重要と考え、見直し基準額の単位を500万円とした。これは、国やこれまでの県の見直し幅と同等としたものである。1,000万円に建設工事費デフレーターの伸び率1.19を乗じると、1,190万円となるが、これを1,500万円に引き上げるよりは、現行どおりとするのが適切と判断したものである。
小松委員	経費率の算定基準が大きく変わっていることを考慮しているのか。
建設企画課長	県では経費率も国に準じている。今回の国の見直しでも建設工事費デフレーターを基準に改正を行っており、それに倣っている。
小松委員	今回の発注基準の改定に伴い、設計金額の大きさに応じた入札参加者の地域要件も変更されるのか。
建設企画課長	地域要件はこの発注基準に準じて設定しているため、今回の見直しに伴い同様に変更するものと考えている。
小松委員	建設業協会は人材確保に向けた様々な努力をしていると聞いている。同協会が主催する「山形県高校生土木研究発表会」の概要及び県の関わりはどうか。
企画主幹	本発表会は、未来を担う高校生の建設業に対する理解を深め、その学びを高めるとともに、土木・建築に関する優れた研究内容や活用例を広く県民に発信することを目的としており、県土整備部や東北地方整備局等が後援している。最優秀賞として「山形県建設業協会長賞」、優秀賞として「山形県県土整備部長賞」を設けるなど、高校生たちの意欲を高めるような工夫もされている。なお、今年は2月に開催予定であり、昨年に開催した第1回は報道機関から取材され記事として取り上げられた。
小松委員	とても良い取組だと思うので、業界内で周知するとともに県でも積極的に応援してほしい。
小松委員	建設業協会では、県の補助金を活用し、業界に対する理解を深める動画を作成しているとのことだが、補助事業の詳細はどうか。

発 言 者	発 言 要 旨
建設企画課長	「建設業魅力発信事業」において、補助率2分の1で約190万円を補助している。その内容としては、主に中学生を含めた若い方々に建設業の重要性や意義を伝えるための動画作成及び中学生やその保護者、教員を対象とした建設現場の見学会の開催である。
小松委員	バス会社や旅行者から、本県は他県に比べて道路の舗装状況が悪いとの声を聞いている。県管理道路の舗装の補修工事に関する予算の状況はどうか。
道路保全課長	道路舗装の補修に関する予算は令和6年度から約10億円増やしており、7年度は23億円前後の予算で補修を進めている。
阿部(ひ)副委員長	「ふれあいの道路愛護事業」におけるマイロードサポーターによる歩道除雪の実施状況及び県の支援状況はどうか。
道路保全課長	マイロードサポーターに対しては、活動に係る保険料や消耗品、燃料費を県が補助している。令和7年度の団体数は585団体で、そのうち歩道の除雪を実施している団体は66団体、対象延長は約40kmである。また、66団体のうち16団体にはハンドガイド式除雪機を貸与しており、その他の団体は自前の機械を使用している。
阿部(ひ)副委員長	除雪機械の購入補助も実施しているのか。
道路保全課長	県土整備部の事業では除雪機械の貸与と燃料費等の補助を行っており、購入への補助は実施していない。購入補助については、みらい企画創造部が所管する「いきいき雪国やまがた推進交付金」で対応できると聞いている。
阿部(ひ)副委員長	道路状況や除雪等に関する問合せの状況はどうか。
道路保全課長	12～3月の4か月間で受けた問合せ件数は、令和2～6年の5年間平均で約1,000件である。また、峠道の雪の状況など道路情報について問合せをする人もいる。
阿部(ひ)副委員長	職員が全ての問合せについて対応を行うと、通常業務に支障をきたすと考えられる。コールセンターの設置などの対応はどうか。
道路保全課長	冬期間におけるコールセンター設置の検討に関する経費を令和8年度当初予算に計上している。実際に問合せ件数が増えると、報告書作成等の業務が増え、通常業務に支障をきたす場合があることから、問合せへの対応業務をコールセンターに集約し、職員は現場対応に注力できるよう効率的に運用していきたいと考えている。
阿部(ひ)副委員長	令和8年度に寄港が予定される外航クルーズ船は21隻となっており、木質ペレット船など従来の酒田港の利用者との調整が増えてくると思うが、寄港に関する現状の考えはどうか。

発 言 者	発 言 要 旨
空港港湾課長	<p>来年度のクルーズ船寄港数は今年度の倍以上が見込まれているが、寄港する古湊ふ頭はバイオマス燃料の積み下ろしにも利用されており、更にひっ迫することが懸念される。このため、一部のクルーズ船について他のふ頭利用を検討した結果、基本的にはこれまでどおり古湊ふ頭で受け入れる方針とし、岸壁の利用調整が難しい場合は高砂ふ頭で対応することとした。しかしながら、高砂ふ頭は接岸できる船の大きさに制限があるため、現在は大型船の接岸の可否に係る技術的検討や、受入れが困難な場合の受入時期の設定方法など、最終的な検討を進めている。</p>
阿部(ひ)副委員長	<p>令和8年度に向けた入札契約制度の見直しにおいて、建築関係コンサルタントの評価項目に「若手・女性技術者の配置」が設定される予定だが、その意図はどうか。</p>
営繕室長	<p>建築関係コンサルタント業界でも若手・女性技術者の育成が課題となっているため、総合評価の技術者評価に関係項目を追加するものである。</p>
阿部(ひ)副委員長	<p>この評価項目の中の若手とは具体的に何歳までか。また、県内の女性技術者の状況はどうか。</p>
営繕室長	<p>ここでの若手とは40歳未満の者を指している。女性技術者の具体的な人数については把握していないが、近年の建築関係コンサルタント業界では、女性技術者が主任担当技術者や管理技術者などに就いているケースも出てきている。</p>
建設企画課長	<p>土木関係の技術者における女性技術者の割合は全体の約3%であり、依然として男性が大多数を占めている。</p>